

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	日本における血液疾患患者を対象とする COVID-19 罹患状況、予後に関する横断研究
	研究目的	2019 年末から新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) による肺炎の集団感染が発生しました。その急性呼吸器感染症 (COVID-19) は世界的に流行し、血液疾患患者は予後不良の転帰を辿ると海外から数多くの報告がなされています。悪性腫瘍、特に血液悪性腫瘍を有する患者さんや造血幹細胞移植(免疫細胞療法)後の患者さん、あるいは、血液良性疾患であっても使用中の薬剤などにより免疫不全状態にある患者さんについては重症化のリスクが高いとされていますが、その予後、重症化および予後予測因子について十分な知見が集積されておらず、本邦からまだまとまった報告がありません。本研究では、日本血液学会研修施設の血液疾患患者さんのうち、COVID-19 診断症例を対象に、国内の血液疾患患者における COVID-19 罹患状況、予後ならびに予後因子について検討し、本邦における独自のエビデンスを発信することを目的としています。
	研究対象者	2021 年 05 月から 2022 年 04 月の期間で、日本血液学会の疫学調査である「血液疾患登録」に登録され、COVID-19 の診断をうけ、診断から 2 か月までの経過が固定されている患者さん。
	研究期間	西暦 2021 年 06 月 28 日 ~ 西暦 2023 年 04 月 30 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	高橋 寛行
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	血液・腫瘍内科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	獨協医科大学 血液・腫瘍内科 三谷絹子